

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

高崎事業所で宣伝を実施

ルネサス懇は3月2日(金)夕方、全国宣伝の一貫としてルネサス高崎事業所で宣伝行動を行いました。この宣伝には、群馬県労会議・OKI電気の職場を明るくする会・電機情報ユニオンの支援を得て8名の参加で行いました。当日は、小雨模様の中でしたが、半



導体事業の諸問題などの訴えに、退勤されるほとんどの人達に受け取って頂き、関心の高さが伺えました。ハンドマイク宣伝は、各団体の役員が次々行いました。(写真はルネサス懇谷口代表)

ルネサスでの要求のひとつである年間一時金は4・3ヶ月と、右グラフの様に三菱電機や日立との間で大きな格差が生じています。ルネサス労使の団交で会社側は「独自の水準を考えていくことが、妥当且つ適切な対応である」と主張しています。厳しさを主張するだけでなく、社員の将来と生活に責任を持つのも企業の責任でもあります。職場では、4・3ヶ月を取りきること

に期待する声が強いです。厳しさが増している中、将来に渡って安心できる職場を実現させよう。

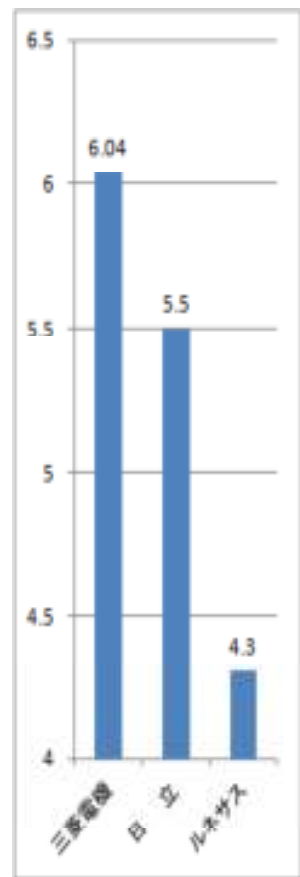
12春闘は、3月14日(水)の集中回答指定日に向けて団交等取り組みを強めている状況です。

賃金体系維持は当然

ルネサス労使の団交で会社側は「賃金体系維持についても、現時点での当社の企業体力を超えた対応であり、到底応えられない」と主張しています。

しかし、賃金体系維持はベース

アップと違い新入社員から定年退職までの賃金カーブを維持するものであり、経営負担が生じると言われる制度でない事は明らかです。さらに、最近の賃金制度は従来



一時金格差の解消を

の定期昇給制度と違って、必ずしも毎年昇給する制度では無くなっています。

一時金満額はみんなの願い!

集積回路

*2月1日、厚生労働省は、毎月勤労統計調査(速報値)を発表しました。その調査結果によると、昨年の11年の労働者一人当たりの現金給与総額は、月平均31万6642円となっています。

現行調査を始めた1990年以降では、リーマン・ショックの影響を受けた09年に次いで過去2番目に低い水準となりました。11年は、東日本大震災や円高の影響による給与減、パートタイム労働者比率の上昇などが影響されたと見えています。

平均月間総実労働時間は、前年比0・4%減の145・6時間。一方、残業などの所定外労働時間は、製造業で0・7%増の14時間となっています。

*国税庁の「民間給与実態統計調査」結果でも、年間給与で97年の468万円をピークに10年の412万円まで下がっている現状です。

職場たより

高い水準を目指して

日立超し 労組の春闘要求は、年間一時金4・0ヶ月、賃金体系維持、18才最低賃金の1000円引き上げ、などを掲げています。また、労働協約の改定については、エイジフリー社会を展望した雇用延長の取り組みとして雇用延長対象者を希望者全員とする事、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた積立年休行使理由の制限撤廃、リフレッシュ休暇の運用柔軟化、半日年休の回数制限撤廃などが掲げられています。

恐怖のシステム統合

3ヶ月くらい前に、区分Eの文書発行システム（ドキュメントポータル）が使用不能となり、データが区分Rのシステム（ライブリンク）へ移されました。そのことを忘れていて、年が明けてから接続しようとして気が付き、「あれ、ライブリンクって、どうやって使うんだっけ?」と思いながら右往左往する始末。そういえばライブリンクの説明会の案内メールが来ていたなと思い出したものの、すでに終了していました。他にもシステム系はほとんどが区分Rのものに移行する筈ですが、何がどう変わるのか未だによく分からず、理解している暇も無いのが実情です。このままでは、4月以降はどうなってしまうのかと、だんだん心配になって来ました。(投稿)

昨年の春闘では、年間一時金4・0ヶ月を要求したものの、会社回答は3・10ヶ月と日立グループ内でも最低水準となりました。また、賃金の3%減額が行われたため、実際にはさらに低額となっていました。

来年度は賃金の3%減額は解除される予定ですが、この数年間の業績対策・事業構造改革などに協力してきた従業員の苦勞に報いるためにも、より高い水準での妥結を目指してほしいと思います。(A)

制度一元化で不安

NECエレとの制度一元化は、4月から実施されます。移行先の基本給レンジの上限超えた場合

合には、超えた金額を「補償給」として切り離し、移行後の基本給を下げるとしており、実質的に給与が減額となることになり将来が不安です。(B)

株価情報について

ルネサスエレの株価は、一時期事業統合関連で上昇しましたが、エルピーダ倒産で下落傾向になっています。(C)



(C) Daiwa Institute of Research Business Innovation Ltd.

休憩室

- ◆「エルピーダ」経営破綻とは おどろきのニュースだ
- ◆「投資顧問会社」企業年金が無くなる あまりにもヒドイよ!
- ◆「国際女性デー」運動する女性が 3・8は連帯する日
- ◆「ロンドン五輪」馬場馬術で7才現役 個人の代表として立派

絵手紙でご挨拶



編集後記

エルピーダモリの倒産発表は、武蔵事業所にも多くの関係者がいる中で大きなショックを与える出来事でした。半導体事業は、巨額な投資を必要とするものであり、自己資本を少なくする「事業の切り離し」結果だと言っても過言ではありません。今後の半導体事業の有様について、シッカリとした対応策を探求する事が求められていると感じています。(T)